

決算報告書

平成26年度 決算報告書

国立大学法人広島大学

(単位:百万円)

| 区 分 | 予 算 額 | 決 算 額 | 差 額 (決算-予算) | 備 考 |
|---------------------|--------|--------|----------------|-------|
| 収入 | | | | |
| 運営費交付金 | 26,954 | 28,070 | 1,116 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 2,763 | 2,763 | 0 | |
| 船舶建造費補助金 | - | - | - | |
| 補助金等収入 | 1,987 | 2,668 | 681 | (注2) |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 110 | 110 | 0 | |
| 自己収入 | 36,837 | 36,550 | △ 287 | |
| 授業料、入学料及び検定料収入 | 8,510 | 8,535 | 25 | (注3) |
| 附属病院収入 | 27,752 | 27,421 | △ 331 | (注4) |
| 財産処分収入 | - | - | - | |
| 雑収入 | 575 | 594 | 19 | (注5) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 5,032 | 5,552 | 520 | (注6) |
| 引当金取崩 | 301 | 343 | 42 | (注7) |
| 長期借入金収入 | 880 | 880 | 0 | |
| 貸付回収金 | - | - | - | |
| 目的積立金取崩 | 418 | 369 | △ 49 | (注8) |
| 計 | 75,282 | 77,305 | 2,023 | |
| 支出 | | | | |
| 業務費 | 62,997 | 62,037 | △ 960 | (注9) |
| 教育研究経費 | 35,957 | 35,384 | △ 573 | |
| 診療経費 | 27,040 | 26,653 | △ 387 | |
| 施設整備費 | 3,753 | 3,753 | 0 | |
| 船舶建造費 | - | - | - | |
| 補助金等 | 1,987 | 2,669 | 682 | (注10) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 5,032 | 5,509 | 477 | (注11) |
| 貸付金 | - | - | - | |
| 長期借入金償還金 | 1,513 | 1,503 | △ 10 | (注12) |
| 国立大学財務・経営センター施設費納付金 | - | - | - | |
| 計 | 75,282 | 75,471 | 189 | |
| 収入 - 支出 | - | 1,834 | 1,834 | |

○ 予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金の決算額については、前年度からの繰越金を計上したこと及び特別運営費交付金(「学長のリーダーシップの発揮」を更に高めるための特別措置枠、年俸制導入促進費、教育改善推進枠)が追加交付されたことにより、予算額に比して1,116百万円多額となっています。
- (注 2) 補助金については、国からの補助事業獲得など応募申請に努めたことにより、予算額に比して決算額が681百万円多額となっています。
- (注 3) 授業料、入学料及び検定料収入については、学士課程に係る授業料収入が増加したこと等により、予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。
- (注 4) 附属病院収入については、手術件数の増加率の鈍化、経皮的動脈弁置換術の実施見込みの減等による入院診療単価の減額及び外来患者数の減少等により、予算額に比して決算額が331百万円少額となっています。
- (注 5) 雑収入については、主として学内機器の利用料収入、牛乳・家畜売払収入等の増により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっています。
- (注 6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得及び受入額の増により、予算額に比して決算額が520百万円多額となっています。
- (注 7) 引当金取崩については、予算段階の見込みより多く取り崩しを行ったため、予算額に比して決算額が42百万円多額となっています。
- (注 8) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた計画の変更により、予算額に比して決算額が49百万円少額となっています。
- (注 9) 業務費については、管理的経費などの支出減に伴う教育研究経費の減及び外来患者数の減少等に伴う診療経費の減により、予算額に比して決算額が960百万円少額となっています。
- (注10) (注 2)に示した理由により、予算額に比して決算額が682百万円多額となっています。
- (注11) (注 6)に示した理由により、予算額に比して決算額が477百万円多額となっています。
- (注12) 長期借入金償還金については、予算段階では把握できなかった借入利率の確定により、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。